

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標(重点は○数字)・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況				
・愛級、愛校、愛郷の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。	A	・元気なあいさつができ規範意識の高い学校生活を送ることができている。	・愛級、愛校、愛郷の精神を生かした教育課程の改善に努める。	・地域において生徒の元気なあいさつが見られた。
・教職員として使命感をもち、情熱と創意工夫にあふれる教育活動を展開する中で5かけの教育を実践する。	B	・学校生活アンケートにおいて、生徒は学校生活を楽しんでいて、授業についても満足度が高い。	・学力調査を分析し、本校生徒の実態を明確にして各教科等の指導に当たる。	
・情操豊かな生徒の育成のため、潤いと安らぎのある教育環境づくりに努める。	A	・学校行事が生徒会を中心として意欲的な取り組みが見られた。		
II 保護者や地域との連携に努める				
・HPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。	A	・定期的に学校だより、学年だより、HPで情報を発信することができた。	・今後も継続的に情報発信に努める。	・定期的に学校の情報が発信されている。
・地域資源を活用した総合的な学習の時間の充実	A	・総合的な学習の時間や体育、音楽の授業で地域人材を活用した学習を展開することができた。		
III 確かな学力の育成に努める				
・基礎的基本的な知識・技能の確実な習得	B	・定期テストの成績表と振り返り用紙を一体化させる。成績表に簡易的に振り返り欄を作成し、成績表の配布と同時に振り返りを行うことで徹底する。	・「学習の仕方」を学活等で活用し、実践につながるように指導する。また、各教科で学習の進め方を適宜指導する。	・学力向上に向けて先生方のご尽力お願いします。
・ファイトタイム、フロンティアタイムの充実	A	・フロンティアタイムの実施により、考え・書く力の向上を目指した。	・家庭学習の習慣化については継続指導が必要である。	
IV 豊かな心の醸成に努める				
・深く考え議論する道徳教育への改善	A	・全校体制で研究授業や研究協議を通して道徳の研究推進ができた。	・道徳の教科科に向けてさらに研究の推進を図る。特に道徳の授業の質的向上を目指していく	・SNS等の危険性については丁寧に指導して欲しい。
・組織的生徒指導の充実	B	・生徒指導主事が中心となり組織的な生徒指導を行うことができた。		
V 健やかな体の育成に努める				
・交通事故ゼロ運動の推進	A	・下校指導、校外巡視を行うことにより生徒の交通安全意識を高めることができた。	・生徒の交通安全意識を高める指導を継続的に行う。	・生徒は反射タスキをつけて下校できている。特に冬場は目立ってよい。
・生命尊重と安全教育の指導の充実	B	・学校栄養士と連携した食育指導が推進できた。	・アレルギーに対する情報共有を的確に実施する。	
・食育の推進	B			

※「Ⅱ 保護者や地域との連携」中の「1 HPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。」については、町教育委員会が指定する目標としますので必ず含めてください。

- ・評価項目の評価欄は、各学校で設定した目標等を評価したものを総合的に評価し記入してください。
- ・各学校の目標については、できるだけ分かりやすくし文で記述してください。